

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ A61K31/192, 31/695, 45/00, A61P25/16, 25/28

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ A61K31/192, 31/695, 45/00, A61P25/16, 25/28

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年

国際調査で使用了た電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

Caplus (STN), MEDLINE (STN), REGISTRY (STN)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリ	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y A	Goodman AB, Pardee AB, 'Evidence for defective retinoid transport and function in late onset Alzheimer's disease.', Proc Natl Acad Sci U S A., 2003 Mar 4, 100(5), p2901-2905.	1-4, 6 5
Y A	Yamakawa T. et al, 'Retinobenzoic acids. 5. Retinoidal activities of compounds having a trimethylsilyl or trimethylgermyl group(s) in human promyelocytic leukemia cells HL-60.', J. Med. Chem., 1990 May, 33(5), p1430-1437	1-4, 6 5

C欄の続きにも文献が列挙されている。

F パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリ

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「B」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に関する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

08.06.2005

国際調査報告の発送日

21.6.2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

野村 留香

電話番号 03-3581-1101 内線 3492

4P

9048

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	Etchamendy N. et al., Alleviation of a selective age-related relational memory deficit in mice by pharmacologically induced normalization of brain retinoid signaling., J. Neurosci., 2001 Aug, 21(16), p6423-6429	1-4
X A	JP 10-338658 A (ヘキスト・マリオン・ルセル株式会社) 1998.12.22, 特許請求の範囲、4, 30, 133-136 段落 & WO 1998/045242 A1	6 1-5
X Y A	JP 2000-502707 A (ビジョン・ファーマシューティカルズ・リミテッド・パートナーシップ) 2000.03.07, 特許請求の範囲、請求項5, 20, 13頁、表3 & US 5965606 A	6 1, 2 3-5
A	Bourdel-Marchasson I. et al., Antioxidant defences and oxidative stress markers in erythrocytes and plasma from normally nourished elderly Alzheimer patients. . , Age and Ageing, 2001 May, 30(3), p235-241.	1-6
A	JP 2002-332266 A (三共株式会社) 2002.11.22, 特許請求の範囲 & EP 1277729 A1	1-6
A	JP 10-59951 A (株式会社医薬分子設計研究所) 1998.03.03, 特許請求の範囲、98段落 & EP 906907 A1	1-6
A	WO 2002/028810 A2 (F. HOFFMANN-LA ROCHE AG) 2002.04.11, 特許請求の範囲、137頁 & JP 2004-510728 A	1-6
A	WO 2002/026727 A2 (ALLERGAN SALES, INC.) 2002.04.04, 特許請求の範囲、3段落、表1 & JP 2004-509955 A	1-6

1) 請求の範囲1-3は、芳香環と、芳香族カルボン酸或いはトロポロン単位を包含する化合物群からなる記憶固定を促進するための医薬に関するものであるが、PCT第5条の意味において当該用途に有用であることが開示されているのは、明細書に記載された特定の少数の化合物のみであり、PCT第6条の意味での裏付けを欠いている。

2) 特に、上記化合物群がトロポロン単位を包含する場合について明細書には何ら具体的な開示はなされていない。

3) 請求の範囲3は、芳香環と、芳香族カルボン酸或いはトロポロン単位を包含する化合物群であって、RAR・サブタイプ α 及び β に結合し、 γ に結合しないレチノイドという所望の特性を有するあらゆる化合物を包含する医薬に関するものであるが、PCT第5条の意味において開示されているのは、明細書に記載された特定の化合物のみであって、PCT第6条の意味での裏付けを欠いている。また、技術常識を参酌してもこのような特性を有する化合物がどのようなものであるかを直には理解できず、上記化合物群に含まれる無数の化合物について、かかる特性を有しており記憶固定障害の治療等に有効であることを確認することは当業者に過度の負担を強いるものであり、そのような意味で発明は不明確である。

特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)

[PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 A42014M	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。		
国際出願番号 PCT/J P 2005/004051	国際出願日 (日.月.年) 09.03.2005	優先日 (日.月.年) 10.03.2004	
出願人 (氏名又は名称) 財団法人乙卯研究所			

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (PCT18条) の規定に従い出願人に送付する。
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 4 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。

☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った (PCT規則23.1(b))。

b. ☐ この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる (第I欄参照)。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない (第II欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している (第III欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 第IV欄に示されているように、法施行規則第47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 図面に関して

a. 要約書とともに公表される図は、

第 図とする。 ☐ 出願人が示したとおりである。

☐ 出願人は図を示さなかったため、国際調査機関が選択した。

☐ 本図は発明の特徴を一層よく表しているため、国際調査機関が選択した。

b. ☒ 要約とともに公表される図はない。

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. ⁷ A61K31/192, 31/695, 45/00, A61P25/16, 25/28		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. ⁷ A61K31/192, 31/695, 45/00, A61P25/16, 25/28		
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2005年 日本国実用新案登録公報 1996-2005年 日本国登録実用新案公報 1994-2005年		
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語) Aplus (STN), MEDLINE (STN), REGISTRY (STN)		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y A	Goodman AB, Pardee AB, 'Evidence for defective retinoid transport and function in late onset Alzheimer's disease.', Proc Natl Acad Sci U S A., 2003 Mar 4, 100(5), p2901-2905.	1-4, 6 5
Y A	Yamakawa T. et al, 'Retinobenzoic acids. 5. Retinoidal activities of compounds having a trimethylsilyl or trimethylgermyl group(s) in human promyelocytic leukemia cells HL-60.', J. Med. Chem., 1990 May, 33(5), p1430-1437	1-4, 6 5
<input checked="" type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリ 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願		
の日後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって明白である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 08.06.2005		国際調査報告の発送日 21.6.2005
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官 (権限のある職員) 淵野 留香 電話番号 03-3581-1101 内線 3492

C (続き). 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	Etchamendy N. et al., Alleviation of a selective age-related relational memory deficit in mice by pharmacologically induced normalization of brain retinoid signaling., J. Neurosci., 2001 Aug, 21(16), p6423-6429	1-4
X	JP 10-338658 A (ヘキスト・マリオン・ルセル株式会社)	6
A	1998.12.22, 特許請求の範囲、4、30、133-136 段落 & WO 1998/045242 A1	1-5
X	JP 2000-502707 A (ビジョン・ファーマシューティカル	6
Y	ズ・リミテッド・パートナーシップ) 2000.03.07, 特許請	1, 2
A	求の範囲、請求項5、20、13頁、表3 & US 596560 6 A	3-5
A	Bourdel-Marchasson I. et al., Antioxidant defences and oxidative stress markers in erythrocytes and plasma from normally nourished elderly Alzheimer patients. , Age and Ageing, 2001 May, 30(3), p235-241.	1-6
A	JP 2002-332266 A (三共株式会社) 2002.11.22, 特許請求の範囲 & EP 1277729 A1	1-6
A	JP 10-59951 A (株式会社医薬分子設計研究所) 1998. 03.03, 特許請求の範囲、98段落 & EP 906907 A1	1-6
A	WO 2002/028810 A2 (F. HOFFMANN-LA R OCHE AG) 2002.04.11, 特許請求の範囲、137頁 & JP 2004-510728 A	1-6
A	WO 2002/026727 A2 (ALLERGAN SALES, INC.) 2002.04.04, 特許請求の範囲、3段落、表1 & JP 2004-509955 A	1-6

1) 請求の範囲 1-3 は、芳香環と、芳香族カルボン酸或いはトロポロン単位を包含する化合物群からなる記憶固定を促進するための医薬に関するものであるが、PCT 第 5 条の意味において当該用途に有用であることが開示されているのは、明細書に記載された特定の少数の化合物のみであり、PCT 第 6 条の意味での裏付けを欠いている。

2) 特に、上記化合物群がトロポロン単位を包含する場合について明細書には何ら具体的な開示はなされていない。

3) 請求の範囲 3 は、芳香環と、芳香族カルボン酸或いはトロポロン単位を包含する化合物群であって、RAR・サブタイプ α 及び β に結合し、 γ に結合しないレチノイドという所望の特性を有するあらゆる化合物を包含する医薬に関するものであるが、PCT 第 5 条の意味において開示されているのは、明細書に記載された特定の化合物のみであって、PCT 第 6 条の意味での裏付けを欠いている。また、技術常識を参照してもこのような特性を有する化合物がどのようなものであるかを直には理解できず、上記化合物群に含まれる無数の化合物について、かかる特性を有しており記憶固定障害の治療等に有効であることを確認することは当業者に過度の負担を強いるものであり、そのような意味で発明は不明確である。